

産業廃棄物処理計画書																											
令和5年 5月 18日																											
長崎市長 殿	提出者 住 所 福岡県福岡市博多区下呉服町1-1 氏 名 NX商事(株)福岡不動産支店 支店長 有田正己 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 092-281-7971																										
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。																											
事業場の名称	日本通運(株)長崎総合物流センターターミナル等工事(解体工事)																										
事業場の所在地	長崎県長崎市田中町406-1																										
計画期間	令和 ⁵ 年4月1日より 令和 ⁶ 年3月31日まで																										
当該事業場において現に行っている事業に関する事項																											
①事業の種類	大分類：建築業 小分類：総合工事業																										
②事業の規模	元請完成工事高(前年度実績) 1,373,000,000円																										
③従業員数	7人																										
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<table><tr><td>発生源</td><td>廃棄物</td><td>処理・処分</td></tr><tr><td rowspan="12">各現場</td><td>がれき類</td><td>破砕 → 再生アスコン</td></tr><tr><td>鉄くず</td><td>破砕・圧縮 → RPF</td></tr><tr><td>木くず</td><td>破砕 → 燃料チップ</td></tr><tr><td>廃蛍光灯</td><td>破砕・選別 → 埋立</td></tr><tr><td>廃石膏ボード</td><td>選別 → 埋立</td></tr><tr><td>廃プラスチック類</td><td>破砕 → 埋立</td></tr><tr><td>廃油</td><td>焼却 → 焼却</td></tr><tr><td>ガラス・陶磁器くず</td><td>選別 → 埋立</td></tr><tr><td>金属くず</td><td>焼却 → 埋立</td></tr><tr><td>混合(管理型)</td><td>選別 → 埋立</td></tr><tr><td>石綿含有産業廃棄物</td><td>選別 → 埋立</td></tr></table> 【 〇 】…委託処理部の範囲	発生源	廃棄物	処理・処分	各現場	がれき類	破砕 → 再生アスコン	鉄くず	破砕・圧縮 → RPF	木くず	破砕 → 燃料チップ	廃蛍光灯	破砕・選別 → 埋立	廃石膏ボード	選別 → 埋立	廃プラスチック類	破砕 → 埋立	廃油	焼却 → 焼却	ガラス・陶磁器くず	選別 → 埋立	金属くず	焼却 → 埋立	混合(管理型)	選別 → 埋立	石綿含有産業廃棄物	選別 → 埋立
発生源	廃棄物	処理・処分																									
各現場	がれき類	破砕 → 再生アスコン																									
	鉄くず	破砕・圧縮 → RPF																									
	木くず	破砕 → 燃料チップ																									
	廃蛍光灯	破砕・選別 → 埋立																									
	廃石膏ボード	選別 → 埋立																									
	廃プラスチック類	破砕 → 埋立																									
	廃油	焼却 → 焼却																									
	ガラス・陶磁器くず	選別 → 埋立																									
	金属くず	焼却 → 埋立																									
	混合(管理型)	選別 → 埋立																									
	石綿含有産業廃棄物	選別 → 埋立																									



(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	別紙のとおり	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙のとおり	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙のとおり	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
	アスファルト、コンクリート殻については再生資材として販売している処理業者に委託している。 木くずの一部についてはエネルギー等への変換を行っている業者に委託している。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	別紙のとおり	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙のとおり	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙のとおり	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) アスファルト、コンクリート殻については再生資材として販売している処理業者に委託する。 木くずの一部についてはエネルギー等への変換を行っている業者に委託する。 優良業者を積極的に採用する。		
	※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	別紙のとおり	t
	(これまでに実施した取組) 廃棄物を減少させる工法等の取り組みを実施。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	別紙のとおり	t
	(今後実施する予定の取組) 廃棄物を減少させる工法等の取り組みを実施。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現場での分離を徹底し、埋立処分等の量を減らす努力をしている
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現場での分離を徹底し、埋立処分等の量を減らす努力を行う

(別紙)

单位: t

[illegible]